

14a プロジェクトチームの現場力向上 ～プロジェクトのファシリテーション～

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	NISA研修室（住所：〒850-0032 長崎市興善町4番6号）
・講師	麻生教育サービス(AES)講師：山口 新吾
・開催月日	2026年11月26日(木)・11月27日(金)
・実施時間・日数	9:30 ～ 17:30 (7時間/日)・2日間(14時間)
・受講料(税別)	94,560円
・教材料(税別)	6,000円

2. 対象者

プロジェクトリーダー、これからプロジェクトを管理していく方。
前提知識：特になし。

3. カリキュラムの概要

若手からベテランまで、すべてのメンバが、協力し合って創発的に成果を出し、このチームでもう一度働いてみたいと思わせるようなチーム作りの方法を習得することを目標としています。

4. カリキュラムの詳細

2日間(14時間)

	科目	時間	科目の内容
11 月 26 日	1.プロジェクトの現場を取り巻く環境	1.0hr	◆システム開発PJを取り巻く環境 ◆経営の中で“ヒト”への関心の高まり ◆様々な人々から構成されるチーム ◆ワークライフバランスの必要性
	2.注目される「現場力」	1.0hr	◆“現場力”で注目される企業 ◆個が輝き響き合うチームの要素 ◆現場力による差別化が競争力を生み出す ◆現場力が浸透すると・・・
	3.成功するプロジェクトを増やすには	0.5hr	◆成功プロジェクトを増やすには ◆マネジメントと現場力の融合
	4.プロジェクトマネジメントに求められるスキル	0.5hr	◆プロジェクトマネージャの役割 ◆プロジェクトマネジメントに求められるスキル ◆情報を“配る”マネジメント
	5.現場力向上に役立つ理論 ～モチベーション編～ 演習1 モチベーション編	2.5hr	◆モチベーションの基礎理論 ◆目標とモチベーション・ ◆メンバのやる気を高める5つのステップ ◆当事者意識を持たせるための3つのキーワード ◆演習問題説明【演習／発表】
	6.現場力向上に役立つ理論 ～コミュニケーション編～	1.5hr	◆コミュニケーションの流れ ◆コミュニケーションの基本モデル ◆コミュニケーション・バリア ◆バーバル／ノンバーバルコミュニケーション ◆様々なタイプのステークホルダとの対応

	科目	時間	科目の内容
11月27日	演習2 コミュニケーション編	2.0hr	◆演習問題説明【演習／発表】
	7.現場力向上に役立つ理論～リーダーシップ編～ 演習3 リーダーシップ	2.0hr	◆リーダーシップの機能 ◆サーバントリーダーシップ ◆様々なリーダーシップ理論 ◆優れたリーダーの共通する4つの戦略 ◆ほめると叱る ◆演習問題説明【演習／発表】
	8.現場力向上の実践 演習4 チーム目標 演習5 ペーパータワー 演習6 自社でのヨコテン検討	3.0hr	◆手法の導入ではなく風土を作り上げる ◆目に入れても痛くないチーム目標を設定する ◆改善の2つのアプローチ ◆朝会、見える化、ふりかえり ◆チーム力は作業標準や仕組みに表れる ◆ヨコテンでチームの成果を組織の成果に ◆発表会でチーム間の相乗効果を狙う ◆演習問題説明【演習／発表】
	計	14.0hr	

※コース改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「プロジェクトチームの現場力向上～プロジェクトのファシリテーション～」
株式会社オフィス新

6. 到達目標

ITプロジェクトにおけるファシリテーション能力を身に付ける。

7. 講座レベル

ITSSLレベル:2～3